



学校図書館実践事例集

# 本と子どもをつなぐ学校図書館 ～うるま市立中原小学校～



## 児童生徒が気軽に 訪れる図書館づくり



本が好きな子にもそうでない子にも図書館に行けば何か楽しいことがある！と思わせるような取組を紹介します。

### 1 コーナー設置の工夫



#### ■実物と本をセットで展示する

実物に触れることで興味がわき、興味がわいたところで本を手にとって、もっと調べてみようという行動につながる。一連の流れがスムーズにいくよう支援することで、4類や7類の本も読まれるようになります。

#### おもしろ観察（蚊の幼虫「ポウフラ」）

7/6（月）図書館で展示・観察しているベンケイソウの「根っこの方で何かかぐねかぐね動いているよ」と、図書委員さんがみつけました。

おも  
なだと思いませんか・・・  
か ようちゅう  
蚊の幼虫「ポウフラ」です。



おしりの先に、息をするためのくだがあるので、頭を下にして息をしています。

#### うるま市立中原小学校 図書館の取組み

図書館の入り口には、年間を通して、子どもたちの興味関心を引く展示を行っており、展示に関連している本の紹介をしています。



私たちの身の回りにいる、蚊をはじめいろいろな害虫のことも知っている、対策もできますね。本もよんでみよう

その他にも



南米原産のひょうたん  
(世界の本展示)

バードウィークにダチョウの卵



だちょうのたまご  
(愛鳥週間。鳥の本)



たねの実験  
(植物の本)



カブトムシの幼虫～成虫  
まで観察 (昆虫の本)

## 2 イベントの企画・実施



### ■イベントを実施することで「図書館は楽しいところ！」を演出する

読書旬間、読書週間、読書月間など、各学校でもさまざまな図書館イベントを実施していると思いますが、ここでは一工夫されたアイデアを紹介します。

4月

オープンと同時に図書館まつりを行い、「オリエンテーション」「クラスのめあてをきめよう」「らくがきコンテスト」「本の分類マッキーノ」「先生方のよみかたり」など図書館に親んでもらえるイベントを開催



(図書委員のよみかたり)



(らくがきコンテスト投票)

この形を、アイデアいっぱい  
のすてきな絵に  
しました。



わくわくする図書館で、これからも本を通してたのしんでいきましょう!

らくがきコンテスト

## 夏休み

図書委員の「本の紹介やおもしろ実験などのわくわくタイム」、「走るCDごまづくり」を行った。150人ほどの子どもたちや、お父さんお母さん、おばあちゃん、先生方、地域の方…たくさんの方が参加して、にぎやかにたのしい時間をすごした。



## 2学期

「いろいろな催しをとおして、子どもたちの読書のはばを広げ、本に親しむきっかけとする」ことをねらいに行った。

- 《内容》・読書朝会 ・どくしよゆうびん ・ラッキー抽選会 ・読書標語の募集  
・おすすめの本の紹介 ・先生方、ひまわりの会読みかたり  
・展示会（読書まつりで取り組んだ作品） ・読書感想文画コンクールの募集  
・先生方、保護者のおすすめの本を募集して掲示し校内放送や図書館だよりで紹介  
・おはなし会（1～4年は「むかしばなしマッキーノ」、5・6年は「吹き矢で科学」）



「吹き矢で科学」の本から  
実際実験をしながら科学本を紹介



とても盛り上がった  
「むかしばなしマッキーノ」

## 3学期

「もっと絵本をたのしもう」をテーマにいろいろな催しを行い、「絵本」ってこんなにたのしいんだなと思えるようにする。

《内容》

- ① いろいろな絵本展（とびだす絵本・音のでる絵本・光る絵本・メリーゴーランド絵本・木の絵本・おふろであそぶ絵本・布の絵本・3D絵本・立体絵本 など）
- ② 先生方のよみかたり・図書委員のよみかたり・6年生手作り絵本の読みかたりと展示
- ③ 司書のお話会を、臨時時間割で全クラス行う。

# 児童生徒と本との 「であい」をつくる



9類に偏りがちな本の貸出し  
…そこで子どもたちにより多  
くの本に触れてもらうための  
取組みについて紹介します。

## 1 図書館の書架レイアウトの工夫



### ■書棚にどんな種類の本が並んでいるのか興味をもたせる

多くの図書館では日本十進分類法(NDC)のもと資料を分類し排架しています。そして、多くの学校において、児童生徒に分類法について理解してもらうための機会を設けています。ここでは、その取組みについて紹介します。

#### 広い絵本コーナー



中原小学校図書館では、絵本の分類を次のようにすることで、中学年以降の読書（児童書）につなぐ工夫をしています。

- ① 9類にあたる「物語」は、五十音順に配架（奥の壁面の沿ってL字型に書架を設置）
- ② 9類以外にあたるジャンルについては写真のように手前左手から「ずかん」「しぜん」「さんすう」…と表示をつけて排架（手前書架）

例えば、「どうぶつ」についての絵本を読んだ児童には、4類の書棚を紹介することで、本の内容を広げたり深めたりする支援を行っています。

#### 「絵本コーナー」の対面にある児童書書架



## ■ 「おはなし会」のスペースの設置

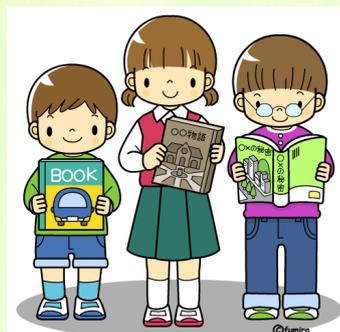
読み聞かせを楽しみにしている児童はとて多いです。中原小学校図書館にはおはなし会を実施するコーナーが常設されています。ふくろうのぬいぐるみのおしゃべり機能をつかって子どもたちの興味を引きます。



このテーブルの前には、児童が座れる広いスペースがあります。

## ■ 「教科書に紹介されている本」の設置

教科で学習したことを広げたり深めたりするために、教科書には指導内容に関連した本が紹介されています。このように一か所にまとめて排架すると、教師も児童も必要なときにすぐ本を手にとることができます。



## 2 ひと味がう「本の紹介」例



### ■クイズをつかった「本の紹介」… おかしばなしマッキーノ

中原小学校図書館では、昔話や世界名作も読んでほしいという思いから「おかしばなしマッキーノ」「世界名作ものがたりマッキーノ」を作成しました。マッキーノで楽しく学んだあと、昔話や世界名作を並べた書架を案内することで、本が借りられるようになりました。

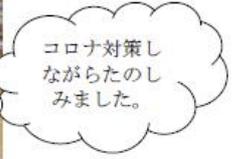
#### おかしばなしマッキーノ (1~3年生)

おかしばなしクイズで、マッキーノをしながらおかしばなしをたのしみました。



#### 世界名作ものがたりマッキーノ (5~6年生)

世界名作ものがたりを紹介しながら、クイズでおはなしの内容にふれていきました。読んでもらいたい名作ものがたりがたくさんあります。手に取ってみてくださいね。



おかしばなしも、世界名作ものがたりも、マッキーノの問題は配られているのでご家族でやってもたのしいと思いますよ。

\*\*\*\*\*

#### 『おかしばなし』マッキーノ

\*\*\*\*\*

おかしばなしマッキーノで「おかしばなし」をたのしんでみましょう。

- ①『ももたろう』のお話でオニたいじに行く仲間、さるときじとあと一匹は何でしょう
- ②うらしまたろうは、たすけたかめにつれられて、どこにいったでしょうか。
- ③『さるかにがっせん』で、さるはかにがもっていたおむすびとこうかんしたのは何でしょう
- ④『ねずみのすもう』で、やせたねずみは何を食べてつよくなり大ねずみに勝ったでしょうか

#### キーワード

- ① いぬ
- ② りゅうぐうじょう
- ③ かきのたね
- ④ もち
- ⑤ ぼち(しろ)

おきかたの例

\*\*\*\*\*

\*12のキーワードの中から9つえらんで、マッキーノ用紙にすきなようにおいきます。先生がよみあげたもんだいのキーワードの人は、キーワードをひっくりかえす。ビンゴになった人の中から、早上がり賞とミラクル賞を決めます。

いぬ	かきのたね	かぜ
へ	もち	ねずみ
ぼち	たぬき	はり

※ マッキーノの資料はダウンロードできます。そちらもご覧ください。

### ■保護者おすすめの「本の紹介」

先生や図書委員による「本の紹介」には、児童生徒も高い関心をよせてくれます。中原小学校図書館では、さらに保護者による「本の紹介」を実施しています。「うちのお母さんの紹介文だ!」「これ〇〇さんのお母さんだよ」など、子どもたちに好評でした。

#### 保護者のおすすめの本紹介

読書まつりで、保護者のみなさまにおすすめの本を紹介していただきました。ステキな本の紹介をありがとうございました。本といっしょに図書館前に展示したり、校内放送でも紹介しています。紙面の都合上ここではいくつか紹介させていただきます。お子さんと幸せな読書タイムにいかがでしょう。(本人確認が取れていませんので名前はイニシャルにしました。ご了承下さい)。



##### 『おばけ桃の冒険』(評論社) (mさん)

小学生の頃に読んだ本で、私が今でも大好きで、子どもにもすすめたい本です。作者のロアルド・ダールの想像力に夢中になりました。すこしブラックなファンタジーは、「起こらないかもしれないけど、起こったら…」という気持ちにさせてくれます。映像化もされている作品ですが、活字でも映画でも楽しいです。ぜひ両方でロアルド・ダールの世界をあじわってほしいと思います。

##### 『もりいちばんのおともだち』(福音館書店)(Yさん)

小さなものが好きなクマさんと、大きなものが好きなヤマネくん。ふたりは、出会うと一目で気に入って、すぐになかよくなりました。ある日、森のケーキ屋さんの店長から苗をもらいました。クマさんは小さい苗、ヤマネ君は大きな苗をえらんでふたりは大事に育てはじめると思わぬ展開が!! おたがいの違いを認め合い、思いやる気持ち。心がほっこりと暖かな気持ちに包まれます。

### 3 地域人材を活用する



#### ■おはなし会や講話をとおして本と「であう」

地域の方に参加していただくことで、子どもたちは人と本に「であう」ことができます。「であい」の機会をつくることで、子どもたちの世界が広がります。



#### 動物たちからのSOS展



2019.7.12 中原小学校図書館速報版

\*\*\*\*\*

7月1日から図書館は、「動物たちからのSOS展」をしました。PTA副会長の花城国英さんが貸していただき、みんなで、環境やプラスチックゴミ問題などについて色々考える機会になりました。プラスチックですが、「こんなにも地球をよごし、生きものたちを苦しめていたんだ！」というたくさんのお話をきこえました。動物たちだけでなく、まわりまわって人間にも悪い影響を与えるプラスチックゴミ、かないといけませんね。7/4(木)には、花城さんが5年生にプラスチックゴミの話や、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の話、今、日本が取り組んでいる地球に優しい品「紙のストロー・さとうきびの搾りかすで作った皿・紙袋」などを持ってきて見せていただいたり、ミッションをたてたり、環境クイズを考えてくださったり、充実したお話し会となりました。プラスチックをすべてなくすることはできないかもしれませんが、私達のできることから始めていただきたいと思います。

おはなし会のスペースで講演会を実施。関連本も展示しています。



紙のストロー、サトウキビの搾りかすで作った皿...様々なとりくみが始まっています。



#### ひまわりの会 読みかたりスタート

地域の方による「読みかたり」



\*\*\*\*\*

今年度代表の比嘉さんと新里さん

コロナ対策をしながら、やっと7月10日(金)から、ひまわりの会による読みかたりがスタートしました。各クラスで、お父さん、お母さん、地域のみなさま、先生が本を持って、おはなしの世界をたのしみました。すてきな時間をありがとうございました。



うるま市立中原小学校では、平成22年度より教育課程全体と関連付けた年間計画を作成して取り組んでいます。年間をとおして「子どもと読書をつなぐ」をテーマに図書館運営を行っており、珍しい植物や昆虫を栽培・展示し、その関連本を並べるなど、図書貸出しを促す工夫を行うとともに、授業に関連する資料提供や講演会の開催など、学習を促進するための取組みもすすめています。